

8 - 2 本時の展開 (2 / 7 時) 授業者 T 1 : TM、T 2 : HH (場所 : 1 年 1 組)

(1) 本時の目標

被減数が 1 0 以内の減法計算の仕方を理解する。

(2) 展開

	指導過程	指導上の留意点 他
問題の理解	<p>1 . 学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> キャップつかみとりげえむ せんせいは、ひだりてで 7 こ みぎてで 4 こ とりました。どちらが な んこ おおく とれたでしょう。 </div>	
5 分	<p>T 1 : この問題の式はどうなりますか。ワークシートに書きましょう。</p> <p>C 1 : 7 - 4 です。</p> <p>2 . 7 - 4 の計算のしかたを考える。</p> <p>T 2 : 7 - 4 の答えの見つけ方を考えましょう。そして、答えの見つけ方をブロックを使って、みんなにわかりやすく説明できるようにしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に行ったキャップつかみゲームの結果から問題を提示する。 ・ 答えまで書かせる。 ・ 引き算の式は、大きい数を前(さき)に、小さい数を後ろに書くことを教える。 ・ 答えが出せなかった児童や説明が考えられない児童をとりだし、答えの出し方やブロック操作を T 2 が指導する。
	発展・基礎 (T 1)	補充 (T 2)
解決の実行 10 分	<p>3 . ブロックを使って説明する方法を考える。</p> <p>< 予想される説明 ></p> <p>ブロックで 7 と 4 を並べ</p> <p>4 までを 1 対 1 対応させ、3 こ多い。</p> <p>4 までを一気に対応させ、3 こ多い。</p> <p>ブロックを 1 , 2 , 3 , 4 , と数え、対応のない 5 , 6 , 7 , の 3 こ多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなによくわかるように話せるようにブロック操作や説明の仕方を練習するよう助言する。 ・ 机間巡視をして、児童の考えやブロック操作を見取る。 	<p>3 . ブロックの操作による答えの出し方を知る。</p> <p>T 3 : 大きい数を左(前)にブロックで、小さい数を右(後ろ)にブロックで置きましょう。数のちがいがわかりましたか。</p> <p>C 2 : ちがいは 3 です。</p> <p>T 4 : 式もわかりますか。</p> <p>C 3 : 7 - 4 です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被減数と減数のブロックを対応させ、ちがいを見つけさせる。 ・ 式がわからない子には、数のちがいをを見つけるのは引き算だと教える。

<p>解決の検討 20分</p>	<p>4. 答えのを見つけ方を発表し、話し合う。 T 5 : 答えのを見つけ方を発表しましょう。</p> <p>C 4 : 左にブロックを7こ置きました。右に4こ置きました。1こずつ線でつなぎました。線でつなげない3こが答えです。</p> <p>C 5 : 左にブロックを7こ置きました。右に4こ置きました。4こ目まではいっしょです。3こちがうので、答えは3です。</p> <p>C 6 : 左にブロックを7こ置き、7まで番号を書きました。右に4こ置き、4まで番号を書きました。左の5, 6, 7, の3こ多いです。</p> <p>5. 数字だけで正しく計算する方法を知る。 7 - 4 6 - 2</p>	<ul style="list-style-type: none"> 発表する児童を前に出して、みんなに向かってブロックを使って話をさせる。 ブロック操作を通して、対応をしっかりと押さえ、対応のない部分(ちがい)が答えであることを確認する。 ブロックの操作を数字に置きかえて計算する方法を教える。 <p style="text-align: center;">7 - 4 = 3</p> <div style="text-align: center;"> </div>	
	<p style="text-align: center;">発展(T 1)</p> <p>(分解した被序数を表記しなくても、正確に計算できる)</p>	<p style="text-align: center;">基礎(T 1)</p> <p>(自力で、被序数を分解できる)</p>	<p style="text-align: center;">補充(T 2)</p> <p>(自力では、被序数を分解できない)</p>
<p>解決の計画・実行 5分</p>	<p>6. 適応問題を解く。 ・パッと計算できる児童を賞賛する。</p>	<p>6. 適応問題を解く。 ・被除数を分解する方法で解く。</p>	<p>6. 適応問題を解く。 ・被除数を分解して解く方法をいっしょにやりながら答えを出せるようにする。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>7. 本時のまとめをする。 学習カードを書く。</p>		

(3) 評価

被減数が10以内の減法計算の仕方を考え、理解したか。